

1. 施設所管課

健康福祉 部 高齢福祉 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市藤原福祉センター「ふじの郷」			
	所在地	日光市鬼怒川温泉大原2－6			
指定管理者	名称	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会			
	代表者名	会長 高橋 務			
	住所	日光市今市511－1			
指定期間		平成26年4月1日		～ 平成31年3月31日	5年間
選定方法		公募		評価実施年	5年間のうち4年目
施設設置目的		高齢者等に対し介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、もって高齢者福祉の増進及び地域福祉の推進を図る。			
主な実施事業		・地域福祉事業(ボランティアグループ等の拠点) ・居住事業			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用者数の増(延べ利用者数)	人	7,630	6,659	6,430	4,885	2,450	1,722	2,150	3,462		
b	利用者満足度	%	80	78	70	71	70	76	70	83		
c	経費の低減(前年度比)	%	5%減	3%減	5%減	3%増	5%減	43%減	5%減	11%減		
d	収入の増加	円／人	月434万円	月299万円	月299万円	月200万円	30,000	22,020	30,000	17,616		
e	利用しやすい環境づくり サービス向上		関係機関 との連携	相談すべ て対応	関係機関 との連携	相談すべ て対応	職員研修 実施	OJT実施	職員研修 実施	なし		
f	避難訓練の実施	回	2	1	2	2	2	2	2	2		

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収入計 A		55,073,022	43,977,224	14,624,439	13,265,295	0
	指定管理料	13,230,000	13,230,000	13,230,000	13,230,000	
	利用料収入 C	35,903,028	24,113,358	22,020	17,616	
	自主事業収入	0	22,509	17,251	17,679	
	その他	5,939,994	6,611,357	1,355,168	0	
支出計 B		54,609,164	43,977,224	11,391,923	12,172,950	0
	指定事業費	54,609,164	43,977,224	11,391,923	12,172,950	
	内人件費 D	34,773,099	25,686,548	5,282,630	5,675,031	
	内外部委託費 E	5,657,736	5,278,491	1,695,306	1,647,192	
	自主事業費	0	0	0	0	
事業収支 A－B		463,858	0	3,232,516	1,092,345	0
人件費率 D／B		63.68%	58.41%	46.37%	46.62%	#DIV/0!
外部委託比率 E／B		10.36%	12.00%	14.88%	13.53%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	・平成28年度から通所介護を廃止したため、利用者、収入が大きく減少となった。
	・平成29年度は乳幼児健診会場として利用。

サービス改善の状況

ボランティアや各種団体の福祉活動の場を提供するとともに、活動の支援を積極的におこなった。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
①サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	C	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B		
②サービスの 質の評価	施設管理	点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
		協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	利用者対応	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	事業運営	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	A	B	
		避難経路が適切に確保されている。	B	B	
	維持管理	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B	
		協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B	
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B	
		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B	
③安定性	利用者対応	利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B	
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B	
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B	
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B	
	環境配慮	仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B	
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
所見 (成果・課題等)	環境配慮	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B	
		要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
	苦情等対応	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
		利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B	
		総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
		予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	A	B
経費縮減		経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	A	B	
収支状況		収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
総括		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)				
	協定書、仕様書及び事業計画書に基づき適切に管理運営を実施した。				
	また、職員間の連携により安全な施設管理運営に努め、地域住民に「つどいの場所」を提供することで地域福祉の向上を図った。				
	(所管課評価)				
	ボランティア団体の活動支援、地域住民の集いの場として、指定管理者が、施設を活用しながら関わり、地域福祉の推進が図られている。				
前半段階評価		C	総合評価 ※3段階評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。